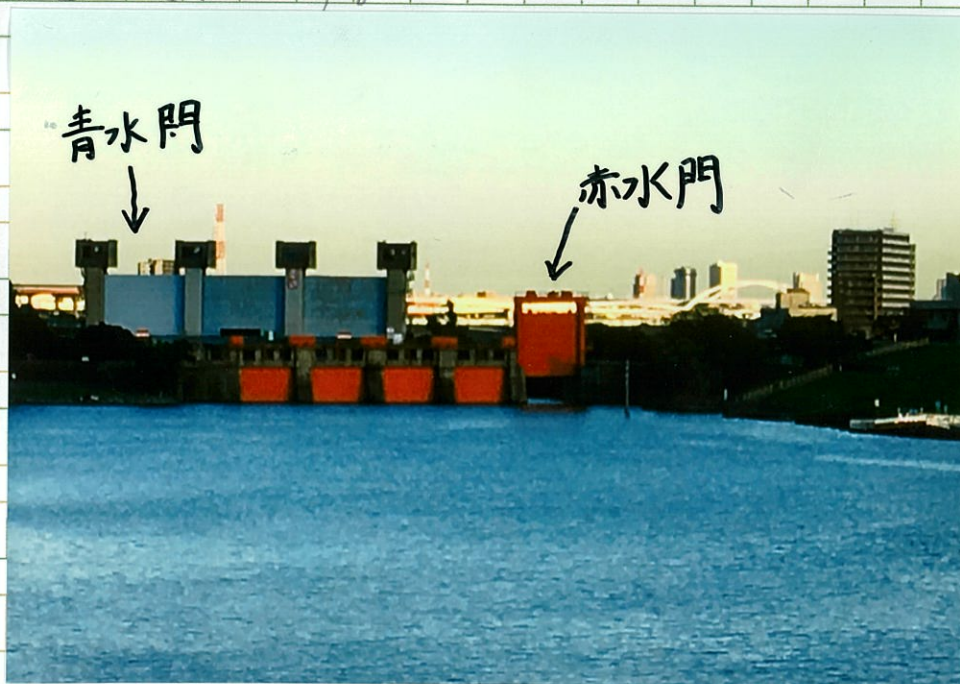


わたしたちのくらしを守る水門

元郷南小学校4年 小坂真弓

今年も、夏の集中ごう雨や台風のえいきよ
うで大雨が続き、ひがいが出てしまっ た地い
きがありました。わたしの家の近くにはしは
川という小さなが流れており、大雨や台風の
時には水かさかふえ流れが早くなりました。
わたしは、マンションのも階に住んでいるけ
れど、川がはんらんしたらと思うととてもこ
わかったです。わたしの家の近くには、荒川
も流れています。



かつて「荒ぶる川」という名のとおりはん
らんをくり返した荒川でした。旧岩ぶち水門

枚数 1/2

※コピーしてお使いください

はその要として、大正5年から8年間の
さい月をかけて建設されました。工事をかん
とくしたのは、パナマ運河建設にたずさわ
た青山あきらさんです。以来、荒川下流域に
すむ人々のくらしを洪水から守、てきました。
昭和30年代のかいしゅう工事で赤い色に
ぬりがえられたことから、「赤水門」という
愛称で地元の人々に親しまれているこの水門
は現在は、水門としての役目を終え、下流に
ある青い岩ぶち水門が役割を果たしています。
旧岩ぶち水門は歴史的建造物として東京都よ
り選定されているそうです。
昔の人は今のような設備がない中、川がは
んらんした時、とてもこわい思いをしたと思
います。今は赤水門は使われなくな、たけれ
ど、代わりに青水門ができて、川のはんらん
からわたしたちのくらしを守、てくれます。
このような生活が送れて、水門を作、てく
れた人々に感しゃしています。わたしも将来
人の役に立つような仕事がしたいです。

枚数 2/2

※コピーしてお使いください